事例 2

タイトル：　怒ることが唯一の感情表現。Ａさんの想いをもっと知りたい。

Ⅰ．＜事例の状況＞

愛煙家で、自宅で主に寝ながら煙草を吸うことが多く、自室は焦げ跡や中には大きな穴が開く物も多く見られる。家族が仕事のために、日中独居になるが、火事が心配なためデイサービスの利用を開始した。デイサービス利用時は煙草の本数も少なく、デイサービスを心待ちにしている様子が見られており、最初週 2 回の利用だったが、現在は週 3 回、本人からもう少し増やしたいとの希望も聞かれる。普段は自分の感情を表情に表わすことはなく、その反面ちょっとしたことでかっとなりやすい面があり、最近顕著に表れるようになってきた。

【この事例で課題と感じている点】

最近怒りだすことが多く、普段は感情を表わさないため笑顔を見ることがない。訴えることもなく、なかなか自分の気持ちを言葉にされないので、本人の想いをどうとらえていけばいいのかわからない。

Ⅱ．＜キーワード＞

かっとなり怒ることが多い。本人の気持ちをくみ取ることが難しい。

Ⅲ．＜事例概要＞

【年　　齢】　80 代前半
【性　　別】　男性
【職　　歴】　不動産関係
【家族構成】　長男夫婦と同居、妻は長女宅に同居
【認知機能】　実施不可
【要介護状態区分】　要介護度３
【認知症高齢者の日常生活自立度】　Ｍ
【既 往 歴】　胃がん　交通事故
【現　　病】　アルツハイマー病
【服 用 薬】　アリセプト・抑肝散エキス・テトラミト
【コミュニケーション能力】　やりたくないことはやりたくないと答え、自分の想いを伝えることはできる。
【性格・気質】　人に命令されることが大嫌い。気が短い。歌は嫌い。
【Ａ Ｄ Ｌ】　食事、入浴は自立。排泄は極くまれに汚してしまうことがある。着脱は前後の間違いはあるが自立。
【障害老人自立度】　Ａ２
【生きがい・趣味】　草むしり。　釣り。　将棋。　たばこ（1 日 1 箱以上）。
【生 活 歴】　農家の末っ子で本人以外は亡くなっている。未成年でたばこを吸い、一日１箱以上吸う。自宅では寝たばこが主で、家族がいくら注意してもやめてくれない。不動産関係で働

いていたが、バブルがはじけ、かなり苦しい状態に追い込まれ、自宅も抵当に入っている。70代後半の時、事故に遭い、頭を打撲する。それを境に、物忘れと嫉妬妄想が出現し、家族に対して暴力を振るうようになってしまう。現在暴力行為はないが、すぐかっとなり家族と口論になる。

【人間関係】　感情を表わさず、怒るときだけ表情が変わる。気に入らないことに対しては突然かっとなり怒り出してしまうが、仲の良い方に対しては思いやりを示し、世話を焼く優しい一面がある。

【本人の意向】　経済的にも身体的にも思うようにいかず、「つまらない」「生きていても仕方がない」と思う。長年、庭の水まきは自分の仕事だと思っている。

【事例の発生場所】　特養併設デイサービスセンター